

「わたらしい生き方応援プランひろしま（第6次）」の素案について

1 要旨・目的

「わたらしい生き方応援プランひろしま（第5次）」（計画期間：令和3年度～令和7年度（令和8年10月まで延長））（以下「第5次計画」という。）の計画期間が、令和8年10月末で終了することから、引き続き、男女共同参画に関する施策を総合的かつ効果的に取り組むため、次期計画を策定することとし、素案を次のとおりとする。

2 現状・背景

県では、平成14年度に「広島県男女共同参画基本計画」を策定して以降、社会情勢の変化等を踏まえながら、5年毎に計画を改定し、施策を推進してきた。

現在、第5次計画に基づき、県民、市町、事業者等と連携を図りながら、性別にかかわらず誰もが個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会の実現に向けた施策を総合的かつ効果的に実施している。

3 計画の概要

(1) 計画の位置づけ

- 男女共同参画社会基本法第14条、広島県男女共同参画推進条例第7条に基づく基本計画
- 女性の職業生活における活躍の推進に関する法律第6条に基づく推進計画
- 「安心▷誇り▷挑戦 ひろしまビジョン」の「地域共生社会」及び「働き方改革・多様な主体の活躍」に係る分野別計画
- 「広島県DV防止・女性支援計画」等、関連する計画との整合を図る

(2) 計画期間

令和8年度～令和12年度（5年間）

(3) 策定に当たっての考え方

第5次計画の振り返りで見えた課題、考慮すべき社会情勢の変化のほか、国の「第6次男女共同参画基本計画」を踏まえるとともに、県民や関係団体の意見も把握し策定する。

(4) 素案の概要（素案は別紙）

ア 目指す姿

性別※にかかわらず誰もが、互いに人権を尊重しながら、その個性と能力を十分に発揮し、社会のあらゆる分野において共に参画し、責任も分かち合うことのできる男女共同参画社会の実現

※性別には、身体的な男性と女性の区別だけでなく、自分の性別に対する認識である「ジェンダーアイデンティティ」や、恋愛や性愛の対象である「性的指向」などの概念を含む。

イ モニタリング指標

目標値は設定しないものの「目指す姿」に向けて、各施策領域に設定する成果指標と合わせて、次の指標が上昇していくよう、動向を注視する。

指標名	現状値（R7）
性別にかかわらず、働き方や暮らし方を自分らしく選択できている人の割合	58.0%
男女間賃金格差の割合（男性の給与額を100としたときの女性の給与額の割合）	75.2%

ウ 施策体系

領 域	施 策 項 目
I 仕事と暮らしの 充実	1 誰もが安心して自らが望む働き方や暮らし方にチャレンジできる環境づくり
	2 女性が職場において意欲を持ってその力を発揮することができる環境づくり
	3 地域社会における男女共同参画の推進
II 男女双方の意識 改革	1 性差に係る固定的な意識の解消
	2 主体的に仕事やライフスタイルを選択する意識の醸成
III 安心して暮らせる 環境づくり	1 ジェンダーに基づくあらゆる暴力を容認しない環境整備と被害者支援の充実
	2 貧困等生活上の困難に対する支援と多様性を尊重する環境の整備
	3 性の多様性についての県民理解の促進と性的指向・ジェンダーアイデンティティにかかわらず安心して暮らせる環境づくり
IV 推進体制の整備 等	1 市町や様々な団体等との連携強化による推進体制の整備
	2 政策・方針の立案及び決定過程における多様な意見の反映

エ 施策に関する「5年後の目指す姿」「主な成果指標」「主な取組」

領域Ⅰ 仕事と暮らしの充実

5年後の 目指す姿	○ 暮らしと両立できる職場環境整備に取り組む企業が増えるとともに、保育サービス等を安心して受けることができる環境づくりが進み、夫婦やパートナー同士が共に育児や介護等に参加し、誰もが、ライフイベントと両立して働くことができるなど、自らが望む働き方・暮らし方ができる環境が整っています。 ○ 職場において、女性が責任ある業務や役割にチャレンジできる環境づくりが進み、また、妊娠や出産、更年期等のライフステージに応じた健康課題への対応も進むことで、就業継続や希望するキャリア形成が実現できる環境が整っています。 ○ 地域活動等においても、多様な意見を取り入れる取組が広がり、誰もが挑戦・活躍できる環境づくりが進んでいます。		
主な成果指標		現状値	目標値
家事・育児を頑張っている男性の割合（パートナーによる評価）		41.8%（R 7）	75.0%（R12）
健康経営優良法人認定企業数（中小企業）		671 社（R 7）	860 社（R12）
自治会やPTAなどの地域活動の場において「男女が平等」と感じている女性の割合		42.8%（R 8）	50.0%（R12）
主な取組	1 誰もが安心して自らが望む働き方や暮らし方にチャレンジできる環境づくり ・男性の育児休業取得促進に向けた優良事例の収集・情報発信等 ・家庭内での女性への家事・育児の偏りの軽減に向けた啓発・情報発信等 ・「性と健康の相談センター」による女性の身体的・精神的な悩みへの相談対応 ・県・市町・企業等と連携した骨粗しょう症・骨折予防に関する啓発 2 女性が職場において意欲を持ってその力を発揮することができる環境づくり ・県内企業が女性活躍を経営戦略として推進するための支援【重点】 ・女性従業員に対する、キャリアアップへの意欲向上のための支援【重点】 ・再就職や転職を希望する女性へのキャリアチェンジ・キャリアアップ支援【重点】 ・女性特有の健康課題に関する健康経営の取組推進のための支援 3 地域社会における男女共同参画の推進 ・地域において性別にかかわらず多様な意見が反映されるための意識啓発【重点】 ・避難所運営等、地域での防災活動等における女性視点の対策の推進		

※下線は、第6次計画から新規に記載するもの（以下同じ）

領域Ⅱ 男女双方の意識改革

5年後の 目指す姿	○ 固定的な性別役割分担意識の解消や性別によるアンコンシャス・バイアス（無意識の思い込み）への気づきにつながる取組が広がり、性別にかかわらず自分らしい選択ができる気運が醸成されています。 ○ 地域の産業や文化、自然、暮らしと安全を支える仕事に触れるなど、体験的・実践的な教育活動が充実し、性別にかかわらず自己の在り方や生き方を考え、主体的に進路や職業、ライフスタイルを選択する意識が醸成されてきています。		
主な成果指標		現状値	目標値
男女が固定的な性別役割分担意識にとらわれずに共に活躍することが大切だと思う人の割合		— (R 8 調査予定)	現状値を把握した上で設定 (R 12)
社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる能力（キャリアプランニング能力を含めた基礎的・汎用的能力）がとても身に付いている高校生の割合		38.3% (R 7)	48.0% (R 12)
主な取組	1 性差に係る固定的な意識の解消 ・ 固定的な性別役割分担意識や性別によるアンコンシャス・バイアスの解消に向けた意識啓発【重点】		
	2 主体的に仕事やライフスタイルを選択する意識の醸成 ・ ライフプランの実現に向けた体験的、実践的なキャリア教育の充実 ・ 児童生徒を対象とした男女共同参画に対する理解の促進		

領域Ⅲ 安心して暮らせる環境づくり

5年後の 目指す姿	○ 性被害やDV、様々なハラスメントに対して、被害者や悩みを抱える方が安心して相談でき、支援を受けることができる体制が整備され、被害を抱え込むことなく、被害の回復・軽減が図られる環境が整いつつあります。また、若年層への性被害の予防に関する啓発等の取組により、被害防止に向けた環境づくりが進んでいます。 ○ ひとり親家庭等の理由により貧困や孤立・孤独など様々な困難を抱える方に対して、相談や必要な支援を受けることができる体制が整えられており、安心して生活できる環境づくりが進んでいます。 ○ 性的マイノリティの方々が抱える悩みを安心して相談できる環境づくりが進むとともに、県民への正しい情報の提供等により、性的指向やジェンダーアイデンティティに関する理解が深まり、誰もが個性や能力を発揮でき、安心して暮らせる環境づくりが進んでいます。		
主な成果指標		現状値	目標値
デートDVの認知度（高校生）		53%（R 7）	80%（R12）
県内の離婚等を理由とするひとり親家庭のうち 養育費を受け取っている人の割合		28.3%（R 6）	39.9%（R11）
「LGBTQ+」という言葉を知っていて内容 も理解している」と答えた人の割合		28.7%（R 7）	50.0%（R12）
主な取組	1 ジェンダーに基づくあらゆる暴力を容認しない環境整備と被害者支援の充実		
	・DV、ストーカー事案についての相談窓口の周知		
	・若年層に対し、DVにかかる啓発の実施		
主な取組	2 貧困等生活上の困難に対する支援と多様性を尊重する環境の整備		
	・市町や支援団体と連携したひとり親家庭のフォローのためのネットワークづくり		
	・ひとり親家庭が養育費の取り決め方法を学ぶための情報提供		
主な取組	3 性の多様性についての県民理解の促進と性的指向・ジェンダーアイデンティティにかかわらず安心して暮らせる環境づくり		
	・企業等の人権啓発担当者への正しい知識の普及のための研修の実施【重点】		
	・より多くの県民に対する、性の多様性に関する理解の促進【重点】		
		・性的マイノリティの方に対する相談環境や当事者間で交流できる場の提供【重点】	

領域Ⅳ 推進体制の整備等

5年後の 目指す姿	○ 市町間の情報共有や先進事例等の共有が図られるとともに、国や企業、団体等が連携しながら、より効果的な取組が行われています。また、個人を含む多様な主体が協働し、ジェンダー平等の実現に向けた活動が活発に行われています。 ○ 県・市町の審議会等への女性登用が進み、政策・方針の立案及び決定過程等において、多様な意見が反映される環境が整っています。		
主な成果指標		現状値	目標値
エソール広島において、個人と団体や団体同士が協働・連携して実施した研修やイベント等の取組数（共催で事業実施したものを含む）		22 団体 54 回（R 7）	32 団体 65 回（R12）
県の審議会等委員のうち女性の占める割合		32.0%（R 7）	40.0%以上、 60.0%以下（R12）
主な取組	1 市町や様々な団体等との連携強化による推進体制の整備 ・ 県内各市町と連携した男女共同参画行政の促進に向けた意見交換や研修の実施 ・ <u>国、市町、企業、団体等と連携した、男女共同参画の視点に配慮した情報発信</u> ・ 男女共同参画の推進に向けた多様な団体との連携・協働の拡大 2 政策・方針の立案及び決定過程における多様な意見の反映 ・ 県の審議会等委員における女性委員の登用に向けた関係課への働きかけ ・ 施策への女性の意見反映の促進に向けた市町への働きかけ		

オ 次期計画策定後のマネジメント

- 毎年度、県庁内の各局で構成される会議等において関係分野の進捗状況を把握するとともに、自己点検・評価等を行い、年次報告として公表し、必要に応じて取組内容の見直しを行うなど、適切な執行を確保する。
- 毎年度開催する、外部有識者で構成された広島県男女共同参画審議会に諮り、その意見等を施策に反映させていく。

4 スケジュール

	7 月	8 月	9 月	10 月
生活福祉保健委員会		●素案	●集中審議	●対応状況
男女共同参画審議会	●素案		●本文案	●答申
策定作業		パブコメ 		●策定